

■ちーびし

○執筆者紹介

①生年・出身地, ②所属, ③専門領域, ④研究業績, ⑤奄美と関係した活動の順番で掲載しております。

②鹿児島大学法科大学院教授

③民法学

④「入会権の全員一致原則の機能—奄美大島瀬戸内町の入会権—」鹿大「法学論集」38巻1・2号,2004年, 「いじめをめぐる法的諸問題」鹿大「法学論集」37巻1・2号,2003年, 「水保病と行政の民事責任」鹿大「法学論集」33巻1号,1998年

⑤プロジェクト事務局

■遠城 道雄 (おんじょう みちお)

①1958年・神奈川県

②鹿児島大学農学部附属農場助教授

③熱帯農学

④ヤムイモ (*Dioscorea spp.*) の生育並びに塊茎の肥大生長について 第3報 ジベレリンがダイジョ (*D. alata* L.) の茎葉及び塊茎の生長並びに休眠に及ぼす作用. 熱帯農業, 43: 65-70 (1999)

ダイジョ (*D. alata* L.) とナガイモ (*D. opposita* THUNB.) およびジネンジョ (*D. japonica* THUNB.) における諸形質の比較. 熱帯農業, 43: 149-156 (1999)

ダイジョ (*Dioscorea alata* L.) の生育に及ぼすジベレリン, アブシジン酸およびウニコナゾールPの作用. 熱帯農業, 45: 133-141(2001)

■木部 暢子 (きべ のぶこ)

①1955年・福岡県

②鹿児島法文学部人文学科人間科学論講座教授

③言語文化論

④『鹿児島県のことば』明治書院 1997年

『西南部九州二型アクセントの研究』勉誠出版 2000年

「島が残した古態」大修館書店『月刊言語』33-1 2004年

⑤平成15年度公開講座「日本の方言・奄美の方言」担当

■采女 博文 (うねめ ひろふみ)

①1952年・鹿児島県

○編集後記

■ 表紙写真は、右側：屋子母海岸（砂浜の写真）、中央：沖永良部島の上空写真（撮影は岩井幸一郎）、左側：内喜名海岸（絶壁の写真）です。沖永良部島の創世神話「島建てシンゴ」をテーマにしたクラシックCD用に、撮った写真。沖縄側の上空から撮影（岩井幸一郎）。「島建てシンゴ」は、先田光演（沖永良部郷土研究会会長）が、知名町屋子母のユタから聞きとったものです。南島各地に断片的に伝わっている神話が沖永良部島につながって完結しているといわれています。最近の研究では、東（南）アジアや、南太平洋の島々の創世神話ともつながっていることがわかりだしてきました。神話の一部を紹介すると、・・・できたばかりの沖永良部島は、波間に漂う島でした。北の先端を踏めば、南が浮き上がり、南の先端を踏めば、北が浮き上がります。その浮島を、島釘と国釘で固めました・・・南側（屋子母海岸）はなだらかですが、北側（内喜名海岸）には絶壁が多い沖永良部島。南側を踏んで、北側が浮き上がっている状態です。島の古代人の想像力には驚かされます。内喜名海岸には、芭蕉の群生が見られます。（前利潔／知名町役場）

■ 残暑が厳しい毎日ですが、次第に秋の気配も感じられるようになってきました。鹿児島大学法文学部周辺のイチヨウの木は、銀杏の実を落としています。イチヨウ並木から見事な黄葉が舞い散る様子を見られるのはもうしばらく先のことで、それまでは銀杏独特の臭いに耐える必要があります。

さて、11月に沖永良部島で開催される第2回シンポジウムについて、開催日時と会場が正式に決定されましたので、ご案内いたします。

開催日時：2004年11月27日（土）12時30分～18時30分
会 場：和泊中学校あかね文化ホール

和泊町長の泉貞吉氏によるご挨拶や、皆村武一（法文）による基調講演を始め、研究討論会・シンポジウムを予定しております。シンポジウムについては、今後も本誌にて紹介してまいりますので、ご期待ください。（1）

研究責任者 山田 誠
奄美ニューズレター
発行 鹿児島大学

編集責任者 萩野 誠
AMAMI News Letter
発行日 2004年10月20日